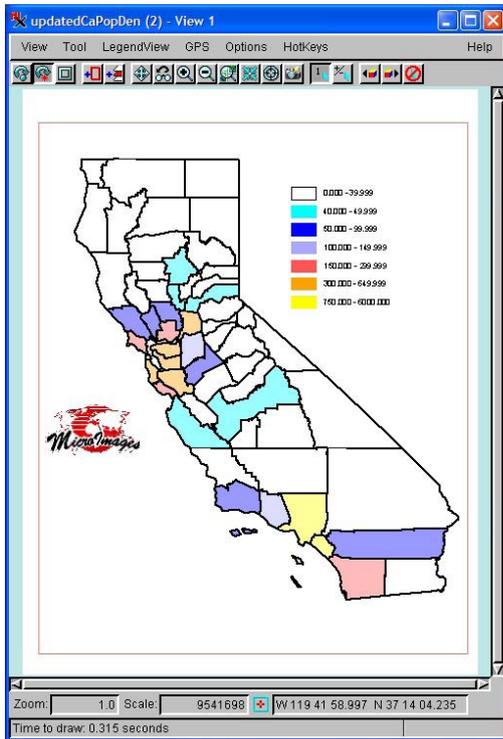


グラフィックを KML や KMZ にレンダリングする

ロゴや他のジオリファレンスされていない TNT オブジェクトのようなグラフィックデータを、KML や KMZ ファイルにレンダリングするグループやレイアウトに含めることができます。これらのレイヤは地上の地物とは関係ないので、グーグルアースはスクリーンオーバーレイとしてレンダリングします。「スクリーンオーバーレイ」は OHP シートのオーバーレイと同じように、グーグルアースでパンやチルト、その他の 3D 機能を使っても、画面上に停まり一緒に動きません。表示の大きさを変えたり拡大縮小しても、同じサイズのまま画面上の同じ位置に表示されます。

スクリーンオーバーレイへのグラフィックレンダリングの最も単純な応用例は、ロゴを地理データレイヤとともに

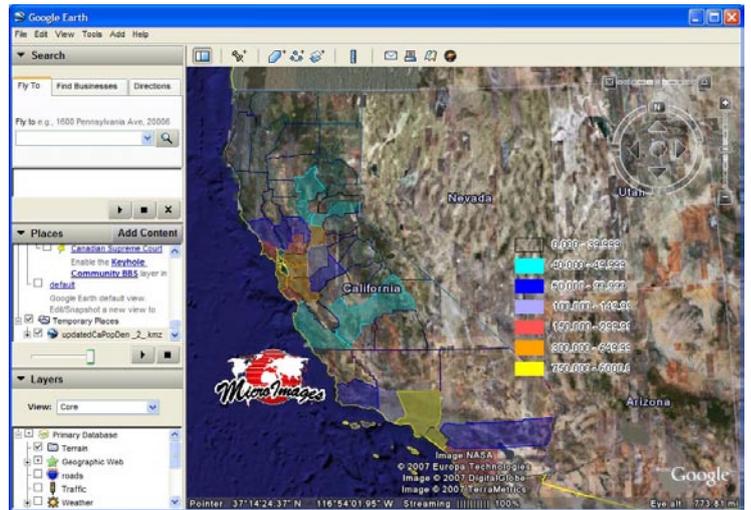
KMZ ファイルに埋め込むことです。レイアウトのうち凡例やスケールバー、テキストのようなジオリファレンスに関係のないパーツも全て、KML や KMZ ファイルにレンダリングすることができます。レイアウトのどのパーツをレンダリングさせるのか、それをどこに配置するか、またそれをグーグルアースでスクリーンオーバーレイとしてどのように表示するかはユーザが決めることができます。このレンダリング処理の設定についてのより詳しい説明は、テクニカルガイドの“Spatial Display: Render Map Layouts to KML (空間表示: 地図レイアウトを KML にレンダリングする)”をご覧ください。



このシンプルなレイアウトを、グーグルアースで表示するために KMZ にレンダリングしました。もっと複雑なレイアウトでは、全てのグループを KML にレンダリングしたくないかもしれません。例えば、(ジオリファレンスされていない) 北向き矢印はグーグルアースで北を上にする以外どの方向にしても北を示すことはありません。また、スケールバーのサイズも拡大・縮小しても変わりません。レイアウトにレンダリングするテキストグループは、どんな背景の上でも見やすいように、明暗 2 色の強調したテキストスタイルを用いたほうが良いです。

レイアウトを KML や KMZ にレンダリングした後グーグルアースの表示の中で、ジオリファレンスされたグループレイヤとされていないグループレイヤの表示・非表示を個別に切り換えることができます。カリフォルニアのポリゴンを表示しないのであれば、凡例も非表示にすることができます。

画像を傾けても、スクリーンオーバーレイはまっすぐなままです。



KML や KMZ ファイルをグーグルアースで開くと、レイアウトの範囲より少し大きくズームされます。強調されたテキストを使うことで、凡例ラベルの色がさまざまな背景の上でどのように見えるか、注意して見てください。スクリーンオーバーレイを使うためにふさわしいパーツのみを表示させるように、レイアウトを設計することができます。あるいは、KML にレンダリングする前に不要なパーツを非表示にすることもできます (隠れているジオリファレンスされていないレイヤはレンダリングされません)。隠れているジオリファレンスされたレイヤは KML にレンダリングされますが、グーグルアースで開いた場合、最初は隠れています。あるいは、全てのパーツを KML にレンダリングすることができます。グーグルアースの中の不要なスクリーンオーバーレイは非表示にすることができます。

